

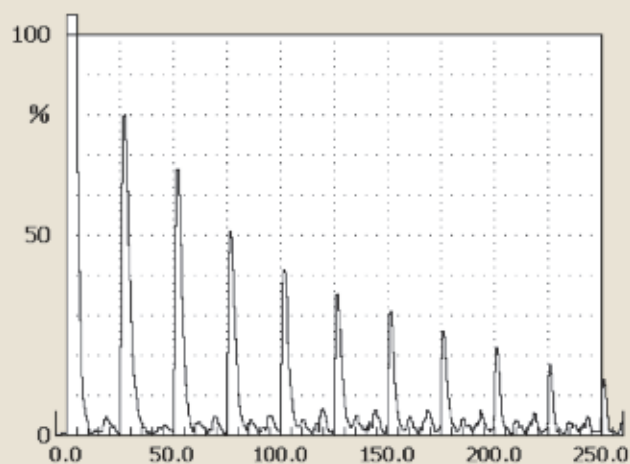
超音波探傷用 超音波イージージェッカー *UT-Pod*

日本検査機器工業会では、手軽に持ち運びができ、現場での感度・距離補正・動作などを簡単にチェックできる小型・軽量の簡易チェックツールを製作いたしました。鋼中縦波用の UT-Pod(UT TP-01B)と鋼中横波用の UT-Pod(UT TP-02)の2種類を準備しています。

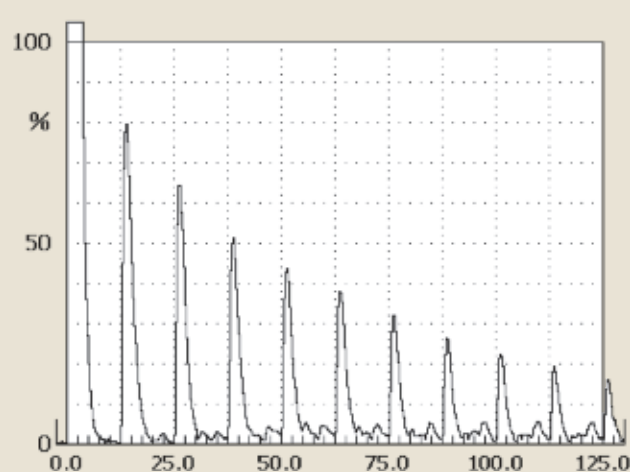
縦波用UT-Pod (TP-01B)



横波用UT-Pod (TP-02)



垂直25mm(鋼縦波換算)多重エコー



斜角12.5mm(鋼横波換算)多重エコー

用途例

- 探触子や標準試験片を用いない超音波探傷器の簡易的な日常チェック
- 超音波探傷器の現場での感度・増幅直線性・時間軸の簡易チェック
- マルチチャンネル超音波探傷装置の各チャンネル動作チェック
- 故障(超音波探傷器本体、探触子ケーブルを含む探触子)の簡易チェック

検査証明書は
JIMAが発行致します。

※申し込み書は、JIMAホームページから
ダウンロードもできます。

一般社団法人

日本検査機器工業会

Japan Inspection Instruments Manufacturers' Association

<http://www.jima.jp>



超音波探傷用 超音波イージージェッカー UT-Pod

●使用方法

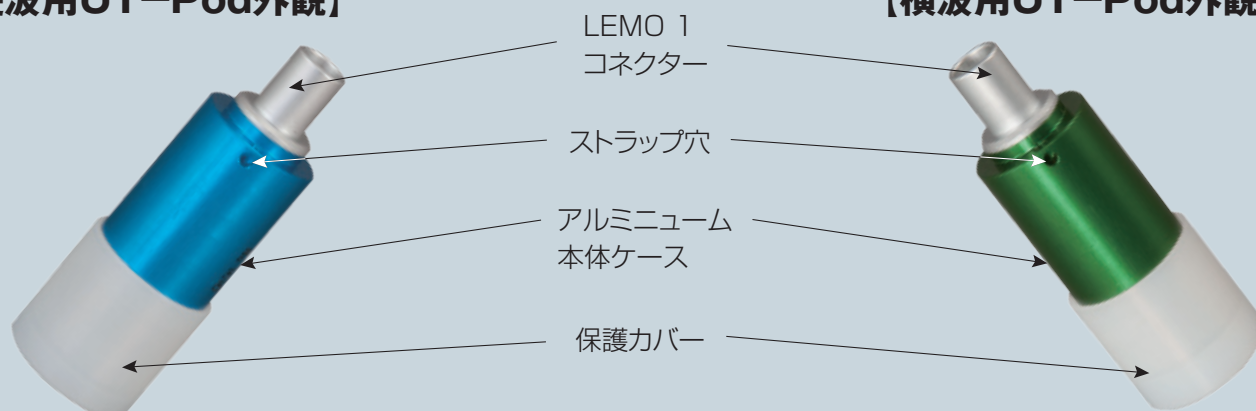
- 超音波探傷器の設定を一探法に切り替えてください。
- 超音波探傷器の受信コネクタ(Lemo 1)に、UT-Podを接続してください。
- 縦波用では鋼中縦波換算距離で25mm間隔、横波用では鋼中横波換算距離で12.5mm間隔の多重エコーが画面に表示されることを確認して下さい。
- 繰り返し信号の位置と数から、画面の測定範囲設定や感度設定値が適切であることをチェックを行い、超音波探傷器の設定がおおよそ正しいかをチェックしてください。
- 頻繁に使用する設定では、信号位置と信号感度がおおよそどの程度か記録しておく、装置と設定の確認が素早くできます。
- 複数台の装置で比較して、個体差を確認したり、異常点検にも利用できます。

●仕様

仕 様	縦波用UT-Pod (UT TP-01B)	横波用UT-Pod (UT TP-02)
伝 搬 長 さ	鋼中縦波換算25mm相当	鋼中横波換算12.5mm相当
コ ネ ク タ	LEMO 1 (ラッチ無し)	LEMO 1 (ラッチ無し)
外 形 寸 法	全長約62mm×直径約22mm	全長約62mm×直径約22mm
質 量	約74g	約72g
色	青色	緑色
そ の 他	ストラップ穴付き 保護カバー付 ケース付き 検査成績書付き	ストラップ穴付き 保護カバー付 ケース付き 検査成績書付き

【縦波用UT-Pod外観】

【横波用UT-Pod外観】



※本カタログの記載内容は製品改良のために予告なく変更することがあります。